

松本国際「女子野球タウン」から発信

県内唯一の女子硬式野球部 「楽しさ広めたい、全カプレー」

松本国際



高校女子硬式野球松本大会が13日、松本市四角球場で開催され、松本国際が岐阜第一、開志学園(新潟)と交流試合を行った。きょう14日も合同練習や親善試合などが行なわれる予定。女子野球熱が高まる中、今年6月に「女子野球タウン」に認定された松本市でも新たな一歩が刻まれた。

▽交流試合
松本国際 3000001 2B
松本国際 2000000 6打点
松本国際 0000004 16
松本国際 0000000 0打点

2戦2敗
今大会は高校野球OB・OG連盟が企画。6月に松本市が女子野球タウンに認定された記念事業として、開催が実現した。今年度は全国高校女子硬式野球選手権の決勝があるグラウンドを初めて甲子園で行われるなど、注目度は高まっている。県内でも新たな取り組みで、競技普及やレベルアップにつなげる構えだ。

県内唯一の女子硬式野球部として活動する松本国際の丸山監督も「普及のためには命がけ」と話す。この日は強豪の岐阜第一と対戦し、先制のホームランを打ったものの、2回裏に逆転された。試合は延長戦に突入し、最終的に2対0で敗れた。

丸山監督「普及のため尽力」
市に提供されるなど、徐々に練習環境は整ってきたという。選手たちのモチベーションも高まっている。女子野球の楽しさを広めて、少しでも関わる人が増えてほしいと願っている。

開会式であじさいの鉢植えを贈った。松本国際は、松本市の大会を契機に、松本市も大会を開催できるように市民を呼びかけたいと、今年度から応援していきたいと、今後の発展に大きな期待を寄せた。女子野球に新たな歴史が加わった21年。松本の地から、熱気をさらに高めていこう。(坂本 寛人)



①松本国際・開志学園の3回、先制のホームランを打つ松本国際・長谷川 ②力投する松本国際の大沢 ③開会式で整列した各校 ④選手宣誓をする松本国際・伊藤主将



塩尻出身の岐阜第一・上條 壘審・父の前で成長見せた
①：岐阜第一の一塁審として出場した上條壘審(1年写真)は塩尻市出身。自身を高められる環境を求めて、県外の強豪の門を叩いた。地元での一戦となったこの日は打数3安打と活躍した。

打と大畑 壘審を務めた父・亮さん(50)の顔で成長した姿を見せた。松本国際でプレーする中学時代のチームメイトとも再会し「地元大会に招待していただいていたとありがたい」と開催に感謝した。



トライアメン
Vリーグ
松本国際は優勝
25252025
15212520
1000000
松本国際は優勝
松本国際は優勝

笠利16得点奮闘
男子1部で10位のV
長野トライアメン

(第3種郵便物認可)

女子野球 はつらつプレー



真剣勝負を繰り広げる松本国際の選手

きょうまで初の松本大会

松本市が本年度、女子野球タウンに認定されたことを記念した「高校女子硬式野球松本大会」が13日、2日間の日程で市四賀球場で開幕した。開志学園高校(新潟)と岐阜第一高校(岐阜)の2校を招待し、松本国際高校と試合を行った。県内では初の試みで、選手たちははつらつとしたプレーを見せていた。

開幕戦は松本国際―岐阜第一となり、松本国際は序盤に1点差で競り合うものの、中盤に失点して2―8で敗れた。格上との対戦に伊藤小雪主将(2年)は「自分たちのレベルアップにつながる良い経験」と笑顔を見せた。女子野球タウン認定から徐々に女子野球への



2年ぶりのステージで心

れた。新型コロナウイルスの影響で昨年は中止となり、2年ぶりの開催となった。地元の13グループが集い、歌う喜びを込めて美しいハーモニーを響かせた。

14社の木工製品展示

松本合同庁舎 4カ所

「待ちに待ったコロナに歌えない日々が続くすまつり。例年と違つ中、精いっぱい練習したグループもあった。」

松本地域振興局 倉など4カ所で開催している。管内の14社が手掛けている。脱炭素社会に

関心の高まりを感じていて「もっと女子野球人口が増え、メジャースポーツになってほしい」と願っていた。

岐阜第一で5番・右翼で出場し、3安打と活躍した塩尻市丘中学校出身の上條優奈さん(1年)は「地元で大会ができたことに感謝」と喜んで



管内の多様な木工製品が並ぶ会場(県松本合同庁舎)

開会式で、大会を主催した県高校野球OB・OG連盟の池口良明会長は「野球を大いに楽しみなから世界にチャレンジして」とあいさつした。臥雲義尚市長は「新時代の女子スポーツ、女子野球を引っ張ってほしい」と呼び掛けた。

試合前には少女野球教室も行われ、約20人の小中学生が参加した。14日は交流試合と合同親善試合の2試合を予定している。(山浦雄一郎)

消費が比較的少ないことなどで注目される木材に関心を持ってもらう。12月28日まで。

安曇野市役所本庁舎(安曇野市豊科)、生坂村B&G海洋センター、筑北村役場(筑北村西条)でも展示している。主に地元の木材を使った箸や椅子、スปีカー、ロボット型のおもちゃなど、各会場に3〜5社の多様な製品が並ぶ。2週間ごとに、4会場の展示内容を入れ換えていく。

各会場で、障害者就労施設「ねくすと」(松本市寿豊丘)で作

来年1月4日〜2月25日には、松本市役所 梓川支所、山形村ミラ・フード館、朝日村役場交流ホール、塩尻市市民交流センターの4カ所と同様に展示している。(大高嶺慧)

11日、知人を装う男などから「今日中にお金を振り込まなければいけないが、カードを落としてしまった」「お金とキャッシュカードを貸してほしい」「友人が取りに行く」などと電話があった。女性は自宅に来た知人の友人を装う男に、現金5万円とキャッシュカード1枚を手渡した。

フラッシュユ

◆県中部震源、安曇で震度1 12日午後10時14分ころ、県中部を震源とする地震があり、松本市安曇で震度1を観測した。震源の深さは約10キ、地震の規模を示すマグニチュード(M)は2.5と推定される。

中信

女子も「野球が大好きです」

普及取り組む松本で「タウン」認定記念大会

3チーム参加はつらつプレー

松本市四賀球場で13日、「高校女子硬式野球松本大会」（県高校野球OB・OG連盟主催）が14日まで2日間の日程で始まった。市が一般社団法人全日本女子野球連盟から女子野球の普及に積極的に取り組む「女子野球タウン」に県内で初めて認定されたことを記念。同市の松本国際と招待校の岐阜第一（岐阜県本巣市）、開志学園（新潟市）が熱戦を繰り広げた。



はつらつとしたプレーが見られた「高校女子硬式野球松本大会」

岐阜第一、開志学園ともに全国大会で上位に食い込む強豪。松本国際は同日の交流試合で岐阜第一に2-8、開志学園に1-6で敗れたが、ナインは最後まではつらつとしたプレーを見せた。ベンチから「一本いけ」と鼓舞する声が絶えず上がり、スタンドからは声援と拍手が送られた。

開会式で、松本国際主将の伊藤小雪さん(16)は「野球が大好きです」と選手宣誓。県高校野球OB・OG連盟の池口良明会長(70)は、今夏の全国高校女子硬式野球選手権大会が初めて甲子園球場（兵庫県西宮市）で決勝を行ったことなどを挙げ、「野球を大いに楽しみ、甲子園や世界にチャレンジしてほしい」と選手らに求めた。



県産ギター・ベース こだわりの品ずらり

松本・信毎MGで展示販売

全国の生産者のギターやベースの「信州ギタール」の日程で、13日、松本市中ディアガーテンの日程で始まる。県内ギターでつくる実行委や素材、デザインが150本以上者は試し弾きや話を楽しんだ。県産のアカマ

江戸時代に栄えた塩尻市の旧中山道「奈良井宿」で13日、宿場町や松本地域の歴史文化に触れるイベント「江戸文化発見in奈良井宿」が開かれた。瓦版売りに扮したガイドが重要伝統的建造物群保存地区に選定されている宿場町の街並みを紹介するツアーなどがあつた。

奈良井宿で江戸に触れる

塩尻 ツアーで歴史文化紹介

